

## 2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	環境建築設計法小委委員会		主 査 名：永田 明寛 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (建築設備運営委員会)		委員長名：持田 灯 主 査 名：長井達夫
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	(1)環境建築の設計技術や性能予測・評価技術を収集・整理すること、(2)収集・整理した技術を、設計あるいは更なる技術の発展、技術者教育に利用できるよう、出版物等の形にして公開することを目的に今年度は以下を計画した。 ①委員会活動の具体的な方針策定 ②環境建築の設計事例と技術開発・研究事例の収集と分析 ③設計事例の現地調査と分析		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 主査：永田明寛 (首都大学東京)、幹事：中山哲士 (岡山理科大学)、委員：赤司泰義 (東京大学)、石野久彌 (首都大学東京)、宇田川光弘 (工学院大学)、大木泰祐 (大成建設)、菊田弘輝 (北海道大学)、郡公子 (宇都宮大学)、木幡悠士 (NTT ファシリティーズ)、小池正浩 (竹中工務店)、長井達夫 (東京理科大学)、羽山広文 (北海道大学)、丸山純 (松田平田設計)、村松宏 (日建設計)、山本佳嗣 (東京工芸大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2017 年度予算	120,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	4 回の小委員会 (第 4 回は 2020/3 月開催予定)、見学会を開催し、幅広い情報交換と討議を行った。 2019 年度大会では OS「環境建築と ZEB の協調」を企画し、計 6 編 (2 セッション) の応募があった。
委員会活動の問題点 ・課題	特になし

## 2019年度 小委員会活動 自己評価

### (中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>環境建築設計法小委員会を5回開催（第5回は2020/3月開催予定）した。環境建築に関する技術動向や将来予測、設計・運用事例、環境建築評価研究や技術の開発、性能予測研究等の話題提供について議論した。また、環境建築の見学会を2回実施した。</p> <p>環境建築に関する新たな出版（第4弾）に向けて、内容の検討を始めた。</p> <p>各回の主な話題提供</p> <p>■第1回 2019/5/17</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄セルラー旭橋駅前ビル 着工</li> <li>・EA 気象データを用いた屋内外 WBGT の推定</li> </ul> <p>■第2回 2019/7/22（於：神田外語大学 会議室）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境建築「神田外語大学8号館」「7号館」の設計趣旨</li> <li>【見学会】：「神田外語大学8号館・7号館」</li> </ul> <p>■第3回 2019/11/16</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近畿産業信用組合新本店（大阪）について</li> <li>・神奈川県開成町の ZEB 新庁舎の建築概要について</li> </ul> <p>■第4回 2020/1/20</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【見学会】：「京橋ミュージアムタワー」</li> <li>・外皮・躯体と設備・機器の総合エネルギーシミュレーションツール「BEST」の開発について</li> <li>・開口部における外気誘引型換気に関する研究</li> <li>・新たな出版に向けての検討</li> </ul> <p>■第5回 2020/3/</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。